

デジタル化による業務効率化を実現しました！

担当：行政経営改革・デジタル推進課 森下・中尾（電話 0979-62-9874）

1. 趣 旨

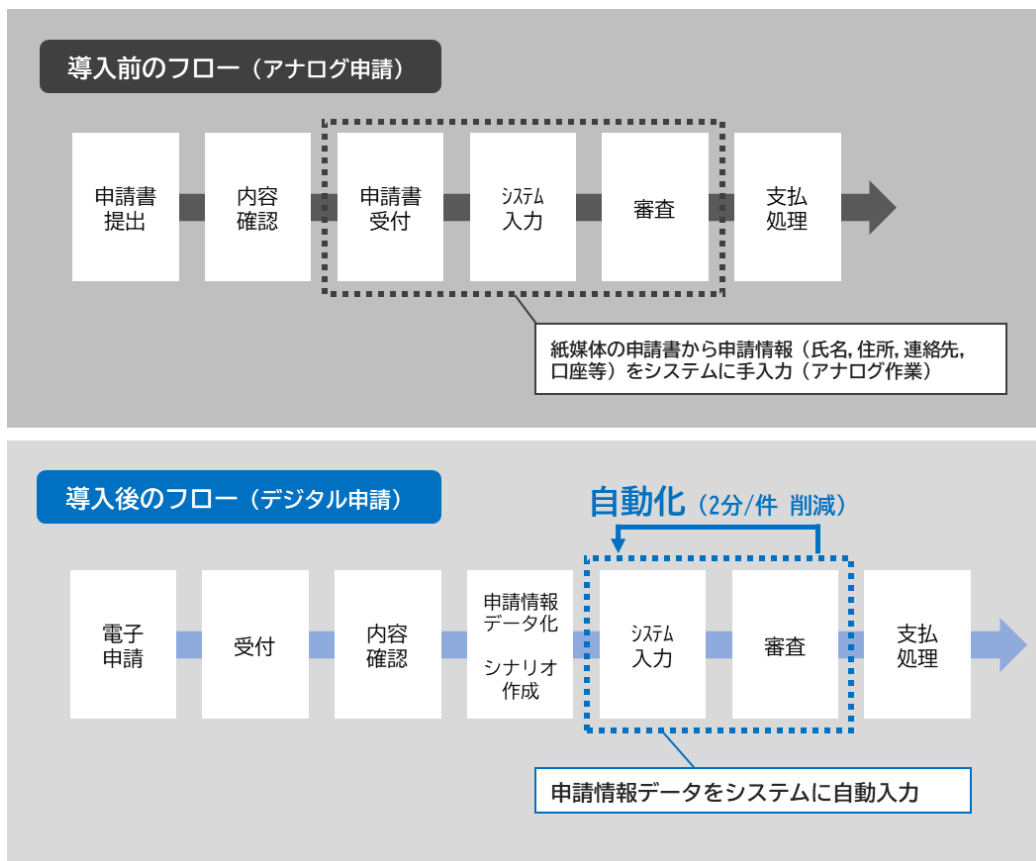
本市は、令和3年度を「デジタル元年」と位置付け、職員のデジタルスキル向上やデジタルサービスの内製化に継続して取り組んでおり、その一環として、RPAを活用した業務効率化について成果が出てきています。

2. 内 容

RPA（ロボティック・プロセス・オートメーション）とは

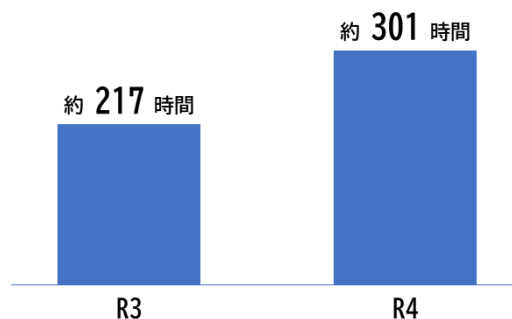
RPAは、普段人が行う定型的なパソコン操作をロボットが代替して自動化するデジタルツールです。表計算ソフトや業務システム（例：住民情報システム等）など複数のアプリを利用する際に生じる、「繰り返し行う業務（反復）」や「ルールに基づいて処理できる業務（単純）」を自動化することが可能です。

RPA 導入後の業務フロー（子育て世帯臨時特別給付業務）



RPA を導入・活用した業務 ※ () 内は業務削減時間／年

- 生活保護関係業務（約 120 時間）
- 市民税関係業務（約 45 時間）
- 固定資産税関係業務（約 30 時間）
- 子育て世帯臨時特別給付業務（約 30 時間）
- 高齢者福祉関係業務（約 35 時間）
- 保育施設関係業務（約 70 時間）

導入後の削減効果**今後の展望**

庁内における活用分野の拡大と操作スキルの向上及び人材育成に取り組み、更なる効率化を図ります。

**参考. 中津流 DX の紹介**

「中津流 DX」サイト：<https://www.nakatsudx.com>

